



令和4年5月1日現在
世帯数 : 841世帯
人口 : 1517人
男 : 724人
女 : 793人

# 新任のごあいさつ

## 館報委員会



委員長  
横沢 敏

活動が一定の評価を受けてきました。

4月より館報委員会の委員長に就任することとなりました。

松本市公民館報第一地区版の「Mウイング」は年6回奇数月に発行され、現在7名の委員で取材、編集等を行っています。公民館報は新聞などと違って、取材から配布までには1か月以上の時間がかかりますので、読者からの反響や手ごたえを感じることはありませんが、地域のイベントや伝統的な行事、風習など民俗学的な記録性には優れている媒体です。前任の田内正一委員長の時代には、平成26年度全国公民館報コンクールで奨励賞を受賞するなど地道な

活動が一定の評価を受けてきました。今こそMウイング内に地区公民館としての部屋もあり、公民館長以下スタッフも常駐しておりますが、私が編集に加わるようになった平成18年当時は、中央公民館の一角に間借りをしたような状態での活動でした。それが平成14年9月30日の第1号から100号を超えるまでになり、この秋には創刊20周年を迎えます。公民館のスタッフと編集委員で楽しく活動しておりますので、委員会へのご参加も大歓迎ですし、より紙面の充実を図るために、皆様のご意見や情報を第一地区公民館までお気軽にお寄せください。お待ちしています。



## 第一地区地域づくりセンター



センター長  
中村 史子

4月からセンター長に着任しました中村史子と申します。微力ではございますが、精一杯務めて参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

私と同じくこの4月から、新たに生活支援員が第一地区にも配置されました。「遠くの親戚より近くの他人」ということわざがありますように、いざという時や困った時には地域の中で助け合い、支え合うことができます。そんな人と人の結びつきを、生活支援員を中心に、広げていきたいと考えております。

地域の力で、この第一地区が今よりもさらに「安心して暮らせるまち」となりますよう、地区の皆さまには、ぜひ地域の活動に関心をお寄せいただき、お力添え賜りますようお願い申し上げます。

# 退任のごあいさつ



館報委員会  
前委員長  
田内 正一

ずいぶんの昔、強引な先輩から「やれ」と委員に命じられ、その後なぜか(もう記憶に無い)委員長になり、長い年月が経ちました。心機一転すべく後任を選ぼうとしましたが、断固ことわられたこともありましたが、この度、それが実現した次第です。漠然と委員長を仰せつかったわけで、抱負などありませんでしたが、曲がりなりにも「長」なら、何か方針をとると思っ、自画自賛ですが、この地区の歴史に関して、もしかして後世の人に参考になるような記事を残そうと、「老舗」「伝統行事」などの具体的記事を委員諸氏にお願いしてきたつもりです。今後一兵卒で新しい委員長を盛り立てたいと思う次第です。結びになりませんが、記事執筆や取材など館報発行に多大なご尽力をいただいた委員の皆さまに、この場を借りて御礼申し上げます。



第一地区地域づくりセンター  
前センター長  
吉澤 拓

この3月31日をもって松本市役所を退職いたしました。第一地区地域づくりセンターは最後の職場でした。2年間という短い期間でしたが、温かい皆様と幸せな時間を過ごせましたことにお礼申し上げます。

在任中の2年間は新型コロナウイルスの感染防止のため地区の様々な行事、事業が中止となりました。特に役員の皆様と準備を進めていた地区行事の「敬老祝賀会」と「ふれあいまつり」が中止となったことは大変残念でした。一方、規模は縮小しましたが、皆様との協力をいただきながら地域ケア会議や避難所開設運営訓練が実施できましたので、今後のまちづくり活動のきっかけとなればと思っております。今後も第一地区町会連合会を中心に地域の安心安全に取り組みんでいただきたいと思います。お世話になりました。

# 第一地区の 老舗をたぞわて

第四十七回：

フレッシュベーカーリー  
ムラタ (国府町)

歴史をさかのぼること明治初期頃、松本駅前周辺は沼地で蓮の花が咲いていたそうです。そんな所に初代、村田金治郎は入山辺から此の地に移り住み、馬で運送業を始めました。その子供、村田儀一は東京の「木村屋」で修業後、運送業からパン屋を始めました。当時はパン製造を始めドーナツや饅頭、駄菓子など販売するようになりました。また馬車や自転車を使い、北は明科方面、南は木曾方面にも売りに回りました。明治43年には巻カステラが大変評価され「第一回製菓品評會褒



松本駅前「フレッシュベーカーリームラタ」

賞之證」という賞を受賞。賞状は今も店頭飾っています。その頃は食パンを「和食パン」と記してあるのも時代を感じます。

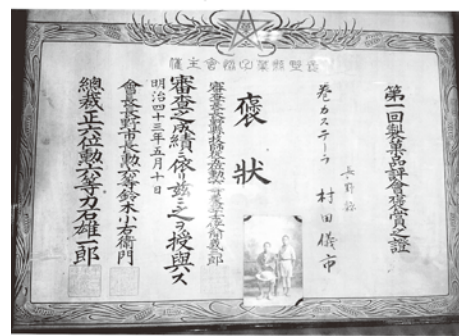
戦後、二代目村田正美になり蒸しパンや黒パン等を始めました。中でも5ヶ入あんぱんは人気商品で、駅のホーム売店や上高地では卸業で販売しました。大正時代、駅前から浅間温泉まで「チンチン」と合図の鐘を鳴らしていた路面電車や、上高地行きのバスが早朝から何台も出動し、店の前は登山者たちであふれかえり、店も大忙しでした。昭和30年代に入り、高度成長期を境に県外からチェーン店や大型店の出店が増え、客層も変わってきました。

昭和40年頃、三代目村田精義は大阪のパン専門学校卒業後、3年程修行し「有限会社ムラタ」として会社設立しました。店頭には社長そっくりの大きな人形を飾ってアピー

ルしていません。妻の絹子は店を切り盛りし、看板娘と云うキヤッチフレーズにもなり賑わいに一役買っています。精義は裏方に回り店を盛り上げ、又町のために20年間も町会長を務めました。

四代目、長女みどりは東京のパン専門学校卒業後、夫・智と共に「フレッシュベーカーリームラタ」と改名し引き継いでいます。明治40年の創業から今年で115年、昔は15人も働いていましたが今は家族だけで頑張っています。昔からの黒パンやアンサンド等を引き継ぎながら牛乳パンや

天然酵母を使ったパン、又80ヶ以上のパンを季節に応じ作り、お客様の声を取り入れながら日々努力しています。



## 令和4年度 第一地区町会役員 (敬称略)

【町会長】	上條 誠二	【町内公民館長】	内藤 昭幸
本町1丁目	山田 善敬	村山 孝幸	英孝
本町2丁目	太田 隆治	中原 正勲	岩原 啓
本町3丁目	正村 宗利	中岩 川上	岩原 修
本町4丁目	宮澤 佐千夫	田中 健一	井垣 博
本町5丁目	井垣 健至	犬飼 陽	井垣 能
伊勢町1丁目	桐原 崇光	藤澤 淳次	井垣 雅子
伊勢町2丁目	藤澤 雅子	今井 修	井垣 修
伊勢町3丁目	田中 芳樹	安部 孝介	井垣 孝
分銅町	春日 孝子	新井 富康	井垣 則一
新伊勢町	新井 富康	中畑 伊藤	井垣 義輝
神明町	中畑 伊藤	伊藤 山	井垣 真道
国府町	伊藤 山	羽二木 増	井垣 真道
西五町	羽二木 増		
西長沢町			
中条中			
博労町			
中町1丁目			
中町2丁目			
中町3丁目			

今回のコロナ禍では、例えば、厚生労働省では「新型コロナウイルスによる新しい生活様式の実践例」という提言をしています。手洗いや買物の仕方、娯楽のやり方等についても、筋トレやヨガは自宅で動画を活用、ジョギングは少人数で行いすれ違ふときは距離を取る等々、きわめて事細かで具体的です。また地方自治体、例えば神奈川県では心身の健康を保つためとして、「食・運動・社会参加で未病改善を」と呼びかけています。おうち時間が増えて運動不足になり人との会話が減り、食生活も乱れがちとなって健康を害することが心配です。そこで、①屋内では寝転んだり座ったりする時間を減らし、足踏みや体操等家でもできる運動を勧める

②食事のバランスをとるための健康レシピの紹介 ③電話やメールなどによる人との交流

④神奈川県庁内にコロナによる悩み相談室の設置等を行っているそうです。至れり尽くせりです。多分、日本独特の国民ケアいでしょ。これを余計なおせっかいと言うか、やはりコロナ禍克服にとつて有難いと評価するか。私たちは独特な政府・行政を持っているようですね。

# 電車通り

今回のコロナ禍では、例えば、厚生労働省では「新型コロナウイルスによる新しい生活様式の実践例」という提言をしています。手洗いや買物の仕方、娯楽のやり方等についても、筋トレやヨガは自宅で動画を活用、ジョギングは少人数で行いすれ違ふときは距離を取る等々、きわめて事細かで具体的です。また地方自治体、例えば神奈川県では心身の健康を保つためとして、「食・運動・社会参加で未病改善を」と呼びかけています。おうち時間が増えて運動不足になり人との会話が減り、食生活も乱れがちとなって健康を害することが心配です。そこで、①屋内では寝転んだり座ったりする時間を減らし、足踏みや体操等家でもできる運動を勧める